

平成29年度

事業報告

社会福祉法人 仁和会
せんげん（共同生活援助）

総 括

昨年度も、引続き「暮らしごこちの良い生活」を目指して運営いたしました。特に利用者の方の生活の安定の基礎となる個別支援計画目標の達成のため、支援の内容、方法及びマニュアルの見直しを継続的に行ないました。利用者の方については、ユニットみなみが出来て以来2年連続して利用者の変更や、長期欠席・入院もなく定員充足し、すべての利用者が安定的に過ごすことが出来たものと思います。秋には恒例のユニット別旅行を実施し、本年度も好評を頂きました。

また、昨年度の建物の修繕等に引続き、テレビ等の設備の更新を行い、生活全般における居住環境の整備をほぼ全面的に実施することができました。

職員の状況についても、職員の入退職がありましたが、安定して利用者支援にあたって頂くことができ、利用者支援にほぼ影響なく運営することができました。

目 次

第 1 章	施設運営の実施状況	1
第 2 章	障害福祉サービス	3
第 3 章	健康管理	4
第 4 章	相談、苦情対応、虐待の防止	4
第 5 章	家族との連携	5
第 6 章	援護の実施者、協力機関との連携	5
第 7 章	職員体制	6
第 8 章	会議・研修等	6
第 9 章	災害対策・事故対応	7

※年齢、実績等のデータは、特記がない場合は平成30年3月31日現在で計上。

第 1 章 施設運営の実施状況

1. 利用実績

(1) 利用定員	18名
(2) 欠員月数	0ヶ月
(3) 新規利用者数	なし
(4) 退所者数	なし
(5) 長期欠席者数	なし

2. 利用者の状況

(1) 年齢階層別

年齢層	男	女	計
20～29	2		2
30～39	3		4
40～49	3	3	6
50～59	4	2	5
60～69	1		1
70以上			0
計	13	5	18
平均年齢	42.2歳	51.5歳	43.9歳

(2) 障害支援区分

程度	男	女	計
区分1	1		1
区分2			
区分3	3		3
区分4	5	4	9
区分5	4		4
区分6		1	1
計	13	5	18

(3) 延べ利用日数

程度	せんげん	きすげ	かたまち	みなみ	計
区分1	0	0	0	226	226
区分2	0	0	0	0	0
区分3	224	0	246	251	721
区分4	164	1,274	710	498	2,646
区分5	818	0	365	0	1,183
区分6	0	294	0	0	294
計	1,206	1,568	1,321	975	5,070
平均支援区分	4.5	4.4	4.1	3.0	4.1

(4) 日常生活動作

内容	支援・助言	一部介助	全部介助
食事支援	8	5	
排泄支援	6	4	
着脱衣支援	9		

歩行支援		3	
寝返り支援			
車椅子利用者		3	
おむつ使用者	3		

第 2 章 障害福祉サービス

1. 日常生活支援

(1) 食事の提供、入浴、歯磨、洗濯および整容等の支援をとおして、日常生活習慣を身につけるとともに、他利用者との大人としての人間関係形成を目指して、支援いたしました。

(2) タイムテーブル

時 間	内 容
午前 6 : 3 0 7 : 0 0	起床 着替え 洗面等 朝食
午前 8 : 0 0 ～ 帰 寮	出勤準備 出勤 (休日は個々での余暇活動)
午後 帰 寮 6 : 0 0 9 : 0 0	洗濯、入浴、自由時間 夕食 洗濯、入浴、余暇時間 共同の場消灯 (10:00には就寝できるよう支援)

2. その他

(1) 貴重品、金銭管理

法人預り金等管理規程に沿って適切に管理を行いました。

(2) 余暇（外出）活動の支援

通所先が半日の場合、午後は郷土の森公園や近隣の学習施設等への外出等を実施し、心身のリフレッシュを図りました。 また、誕生会での外食等を実施しました。

ユニット旅行を下記のとおり実施しました。

- ・ユニットせんげん 10月18日～19日 信州、諏訪湖方面
- ・ユニットかたまち 10月26日～27日 青梅、羽村動物公園方面
- ・ユニットきすげ 11月16日～17日 昇仙峡、ぶどうの丘方面
- ・ユニットみなみ 11月28日～29日 スカイツリー、フジテレビ方面

(3) 日常的な相談、助言

平成25年度より実施している利用者個々に確保している「対話の時間」の中で、さまざまな相談等を実施しました。 その他、TPOにあった行動がとれるよ

う、その場で助言しました。

第 3 章 健康、衛生管理

健康、衛生管理は下記のとおり実施しました。

1. 利用者の健康、衛生管理

- (1) 通所、勤務先および協力医療機関との連携による健康管理情報の取得
- (2) 定期および不定期の施薬（内服、外用）の実施
- (3) 緊急を要する通院の援助
- (4) 日常的な心身の健康状態の観察と対応
- (5) 入浴時の身体衛生の励行への助言、援助
- (6) 歯の健康維持のための歯磨きの励行への助言、援助
- (7) 衣服の洗濯、清潔および衛生面への日常的な助言、支援
- (8) 布団乾燥機等による寝具の衛生管理の励行
- (9) ユニットおよび居室の定期換気

2. 職員の健康管理

新規採用者の採用時健康診断および、年 1 回の定期健康診断（夜間勤務者は年 2 回）を実施しました。 また、法人による「メンタルヘルスチェック」を行いました。

3. 投薬管理の徹底教育

誤配薬は職員の慣れが発生原因と考え、投薬時については、特にマニュアルに定められた手順・方法で、常に原則を確認しつつ実施する旨の徹底を図りました。

第 4 章 相談、苦情対応、虐待の防止

1. グッドパーソン

「法人グッドパーソン規程」に基づき、11月30日にユニットかたまちで夕食を共にし、直接利用者の方々と面談を実施いたしました。

2. 苦情対応

苦情については「法人苦情対応規程」に基づき下記のとおり体制整備を行いました。規程に基づく本年度の苦情はありませんでした。

役 割	氏 名	連 絡 先
苦情解決責任者	堀井 恵一（管理者）	080-5501-1758
苦情受付担当者	吉島 裕一郎（主任）	042-351-0505

	坂井 和美 (主任)	
第 三 者 委 員	井出 政俊	0 4 2 - 3 6 4 - 0 6 3 7
	田中 真知子	0 4 2 - 3 6 0 - 1 2 9 4

3. 虐待の防止

ホーム会議でも虐待防止に関する資料に基づき学習する機会を持ち、共同生活援助の援助等の場面は、常に密室であることを十分に認識するよう啓発、また、法人の虐待防止委員会による研修への参加及び「虐待防止チェックリスト」を全職員で実施し、職員の資質の向上を図りました。

第 5 章 家族との連携

1. 保護者会の実施状況

(1) 全体保護者会

- ・ 5月24日 利用者自己負担金、行事予定等
- ・ 1月24日 ユニット旅行報告、行事予定等

(2) ユニット別保護者会

ユニットの増加により平成27年度より実施している、ユニット個々の状況にあわせた内容で今年度も実施しました。

- ・ ユニットせんげん 9月13日 後期個別支援計画、ユニット旅行等
- ・ ユニットかたまち 9月16日 //
- ・ ユニットきすげ 9月20日 //
- ・ ユニットみなみ 9月27日 //

(3) お花見の会

3月31日、恒例となったお花見会兼お食事会を、せんげん庭にて全利用者参加のもと、保護者、職員、小笠原理事、第三者委員および理事長も参加の上実施しました。

2. その他

日常生活を快適に送るためのご家族の援助を受けるべく、連携を図りました。

第 6 章 援護の実施者、協力機関等との連携

1. 援護の実施者との連携

利用者の継続利用等に伴う障害福祉サービスの手続き等が適切に行えるよう連携し調整を実施しました。

2. バックアップ施設との連携

緊急時のバックアップ体制を整えている「府中はるみ福祉園」および「府中さくらの杜」との連携体制の確立や、日常的な情報交換を積極的に行いました。

3. ボランティア、実習生の受入れはありませんでした。

4. 見学者の受入れは、ありませんでした。

第 7 章 職員体制

1. 新規採用

・ニタ村 典子（常勤生活支援員） 4月 1日付

2. 退職

・ニタ村 典子（自己都合退職） 3月31日付

・塚本 秀行（定年による期間満了） 3月31日付

第 8 章 会議・研修等

グループホームせんげんの日常の運営、利用者援助、支援に必要な会議および研修等を、下記のとおり実施いたしました。

1. 会議

- | | |
|-------------------|------------------|
| (1) ホーム会議（職員全員参加） | 12回（毎月） |
| (2) ホーム保護者会 | 3回（5月、9月、1月） |
| (3) 法人施設長会議 | 24回（毎月第2、最終木曜日等） |
| (4) 法人主任会議 | 12回（毎月第3水曜日等） |
| (5) 主任打合せ | 適宜 |
| (6) ユニット別会議 | 16回（4、8、12、2の各月） |

2. 研修

(1) 法人内研修

- ・ 6／17 自己の価値観を見つめる（法人職員）
- ・ 9／30 身近なものを使って作る季節の制作
（東京都社会福祉協議会講師派遣事業による講師）
- ・ 11／18 職員の観察力を高めるために
（東京都社会福祉協議会講師派遣事業による講師）
- ・ 2／17 虐待防止研修（白梅学園大 堀江 まゆみ教授）
- ・ 3／17 生活習慣病について（府中医王病院 島田 幸男院長 産業医）

(2) 外部研修

- ・ 7 / 18 GH等世話人養成研修（新任職員対象） 1名
- ・ 11 / 9、12 強度行動障害支援者養成研修 1名
- ・ 2 / 19 GH等世話人養成研修（新任職員対象） 1名

(3) 文書研修

法人内会議等の議事録、関係機関からの通達、冊子等の情報を回覧し、各自資質を向上させることに努めました。

(4) 実地研修

上記の机上の研修のほか、実地の場面での教育、研修（OJT＝オンザジョブトレーニング）を実施しました。

第 9 条 災害対策・事故対応

利用者の生命、身体および財産を保護するため、下記のとおり対策を実施しました。

1. 防火設備等の点検実施

- ・ ユニットせんげん・きすげ 10 / 6 3 / 1（年2回）
- ・ ユニットみなみ 10 / 4 3 / 1（年2回）

※ ユニットかたまちはマンション全体での点検のため、法人としての点検は不要となっている。

2. 防災訓練

・ 避難訓練

ユニットせんげん・きすげ	5 / 25	せ6 / 4	き 8 / 21	11 / 1	1 / 4
ユニットかたまち	5 / 11	8 / 3	11 / 1	1 / 4	
ユニットみなみ	5 / 11	8 / 21	11 / 1	1 / 4	

3. その他の防犯対策の実施

- (1) 全ユニットに防犯用非常通報装置（セコム）を設置。
- (2) 府中警察署の協力による「警察官立寄所」シールの玄関貼付。